

(1) 事業の目的

住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。

(2) 指標：静岡県における住宅の耐震化率を上げる

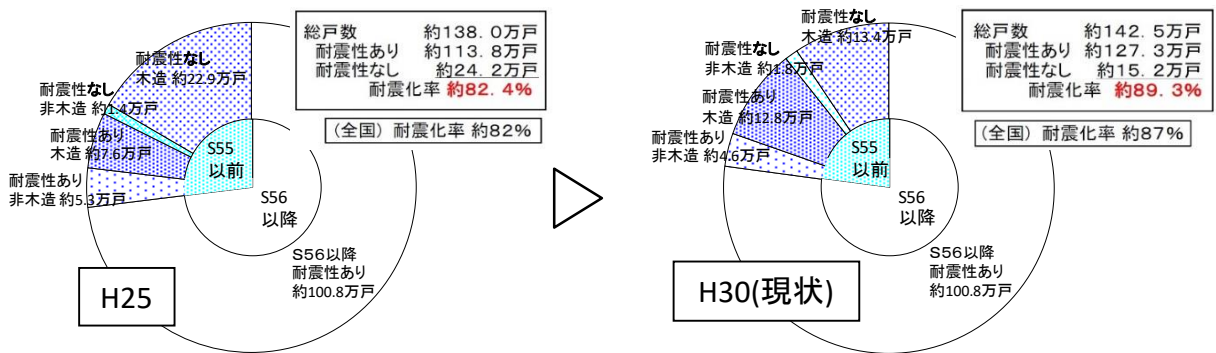
昭和56年5月以前に建設された旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事を対象とした。

指標の達成状況

平成30年度末時点での最終実績は89.3%であり目標（95%）を達成できなかった。主な理由は、高齢等を理由に耐震補強に踏み出せない方が多く残る等の課題があり、住宅の耐震化は着実に進捗しているが、目標の95%到達には、もう少し期間を要する。

計画の成果目標	定量的指標			
	H28当初 ^{※1}	R2末最終目標	R2末最終実績 ^{※2}	R2末達成率
静岡県における住宅の耐震化率を上げる	83%	95%	89.3%	52.5%

※1 平成25年住宅・土地統計調査より推計
 ※2 平成30年住宅・土地統計調査より推計



(3) 指標に関連する実施事例

①木造住宅の耐震化



【住宅の耐震補強事例】

(4) 定量指標以外の効果発現状況

- ①住宅の耐震化の進捗により、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。
- ②住宅の耐震化の進捗により、地震発生後も在宅避難が可能となり、避難所での密の回避、新型コロナウイルス感染症等の感染リスクの低減ができた。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

人命を守ることを最も重視し、「安全で安心な住まい」の確保に向けて、これまでの「耐震補強」への誘導を主としながらも、巨大地震から命を守る手段として「建替え」や「耐震性のある住宅等への住み替え」も選択肢に加えた上で、耐震化に消極的な高齢者世帯に対する相談体制を強化し、きめ細やかな対応を行うことにより、総合的に耐震化を推進する。